



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月25日

上場会社名 鉦研工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木山 隆二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務本部長 (氏名) 三輪 美之 (TEL) 03-6907-7888  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,543	23.1	△3	—	△6	—	△27	—
2019年3月期第1四半期	1,253	△22.0	△73	—	△75	—	△100	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △24百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △97百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△3.02	—
2019年3月期第1四半期	△11.25	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,781	3,504	44.8
2019年3月期	8,011	3,583	44.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,485百万円 2019年3月期 3,564百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,540	10.4	40	308.8	30	224.7	20	105.1	2.23
通期	8,000	12.1	290	6.3	280	4.7	200	11.3	22.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	8,970,111株	2019年3月期	8,970,111株
2020年3月期1Q	3,551株	2019年3月期	3,551株
2020年3月期1Q	8,966,560株	2019年3月期1Q	8,966,595株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績予想見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、米中貿易摩擦による景況悪化及び今後の消費税率引上げ等により、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、国内市場は今後も都市の再開発、全国規模の防災・減災対策、インフラ老朽化対策、リニア中央新幹線建設など、社会資本整備が不可欠で、建設投資は底堅く推移していくことが見込まれています。

このような状況のもと、当社グループでは「2018中期経営計画」(2018年度～2020年度)の2年目である当期もこの計画に基づき、『①粗利率のアップ、②固定費低減、③売上拡大』を目指して引き続き推進してまいります。

また、本年6月から新執行体制へ移行したことにより社是を「ONE & ONLYの技術構築のために前進」へ変更いたしました。これは、当社にしかない「ONE & ONLY」の得意技術をボーリングスペシャリストとしての自負とともに国内・海外の市場に展開していくというもので、これまで以上に他社が追従出来ない機械と施工技術の開発を進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の受注は、ボーリング機器関連において国内での機械本体を中心にして受注が伸びたため、前年同四半期を上回ることができました。また、売上につきましても、ボーリング機器関連、工事施工関連ともに計画を上回る出荷売上と完工が進んだため、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、連結受注高は、前年同四半期8.8%増の2,329百万円、連結売上高は、同23.1%増の1,543百万円となりました。利益面におきましては、売上高の増加と原価率の低減により粗利益段階では前年同四半期を大きく上回りましたが、株式会社エンバイオ・ホールディングスとの資本・業務提携に係るコンサルティング・弁護士費用などで販売費及び一般管理費が増加したことにより、若干ではありますが営業損失は3百万円(前年同四半期は、73百万円の営業損失)、経常損失は6百万円(同75百万円の経常損失)となりました。当四半期は固定資産売却益15百万円の計上により税金等調整前四半期純利益は黒字となりましたが、役員退任に伴う繰延税金資産の取り崩し等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は27百万円(同100百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)の結果となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間(A) 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	前第1四半期 連結累計期間(B) 自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	2,329	2,141	188	8.8%
売上高	1,543	1,253	289	23.1%
営業損失(△)	△3	△73	69	—
経常損失(△)	△6	△75	68	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△27	△100	73	—

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

中国や韓国向けの海外受注は遅れているものの、国内でのボーリングマシン本体などの受注が増えたことにより、受注高は前年同四半期と比べると増加いたしました。売上につきましても海外は低調ではあったものの、国内において当社主力のロータリー・パーカッションドリル（R P D機シリーズ）の出荷が順調に進んだことにより、前年同四半期を上回ることが出来ました。

利益面では引き続き特機の原価高をおこさない体制により逐次、個別原価の管理を行っておりますが、販売費及び一般管理費が増加したことにより、75百万円のセグメント損失（営業損失）（前年同四半期は62百万円）となりました。

（単位：百万円）

	当第1四半期 連結累計期間(A) 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	前第1四半期 連結累計期間(B) 自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	1,238	1,004	233	23.2%
売上高	787	648	139	21.5%
セグメント損失 (△)	△75	△62	△12	—

（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

② 工事施工関連

多忙となっている北海道・北陸における新幹線・高速道路延伸工事でのトンネル先進調査ボーリング工事に加えて、当社得意工種である大口径立坑掘削工事（BM工事）と長尺コントロールボーリング工事の受注が獲得できましたが、温泉工事、アンカー工事や海外工事が低調であったため、受注高は前年同四半期と比べると減少いたしました。売上高につきましては、トンネル先進調査ボーリング工事、アンカー工事、温泉工事に加えて小口でありますBM工事も完工したことにより、前年同四半期を上回りました。

利益につきましては、完工高の増加と、BM工事により全体の利益率を上げたことにより、71百万円のセグメント利益（前年同四半期は11百万円のセグメント損失）となりました。

（単位：百万円）

	当第1四半期 連結累計期間(A) 自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	前第1四半期 連結累計期間(B) 自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	1,090	1,136	△45	△4.0%
売上高	756	605	150	24.9%
セグメント利益又 は損失(△)	71	△11	82	—

（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して230百万円減少し、7,781百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、未成工事支出金、原材料及び貯蔵品）が267百万円、現金及び預金が94百万円増加しましたが、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権、完成工事未収入金）が658百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して236百万円減少し、5,778百万円となりました。

有形・無形固定資産は、建物、機械及び装置などで64百万円の設備投資を行いました。21百万円の減価償却の実施により1,671百万円となりました。投資その他の資産は、繰延税金資産が35百万円減少し254百万円となったことにより、固定資産合計では前連結会計年度末と比較して6百万円増加し、2,003百万円となりました。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して151百万円減少し、4,276百万円となりました。

流動負債は、買入債務（支払手形及び買掛金、電子記録債務、工事未払金）が111百万円増加しましたが、未成工事受入金が88百万円、未払法人税等が79百万円、賞与引当金が64百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して78百万円減少し、3,304百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が7百万円増加しましたが、役員退職慰労引当金が57百万円、退職給付に係る負債が21百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して72百万円減少し、972百万円となりました。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失27百万円及び配当金の支払い53百万円等を計上したことから、3,504百万円となり、自己資本比率は44.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年4月24日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。



3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,186,534	1,281,402
受取手形及び売掛金	1,549,824	1,022,615
完成工事未収入金	698,067	405,477
電子記録債権	347,897	509,007
商品及び製品	1,219,986	1,378,489
原材料及び貯蔵品	394,148	429,142
仕掛品	405,292	467,272
未成工事支出金	123,983	135,620
その他	89,348	149,578
貸倒引当金	—	△300
流動資産合計	6,015,083	5,778,304
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	524,778	556,000
有形固定資産合計	1,604,344	1,635,566
無形固定資産		
投資その他の資産	24,694	35,702
繰延税金資産	289,976	254,021
その他	82,802	80,743
貸倒引当金	△5,446	△3,028
投資その他の資産合計	367,331	331,736
固定資産合計	1,996,370	2,003,005
資産合計	8,011,453	7,781,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	965,778	1,029,459
電子記録債務	675,391	744,670
工事未払金	148,438	126,699
短期借入金	770,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	132,300	139,496
未成工事受入金	112,758	23,841
未払法人税等	92,465	12,557
製品保証引当金	17,030	14,243
賞与引当金	149,922	85,437
その他	319,315	378,488
流動負債合計	3,383,401	3,304,893
固定負債		
長期借入金	200,110	207,836
役員退職慰労引当金	69,476	11,850
退職給付に係る負債	597,659	576,411
環境対策引当金	3,744	1,904
資産除去債務	11,975	12,012
その他	162,085	162,085
固定負債合計	1,045,050	972,099
負債合計	4,428,451	4,276,992
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	5	5
利益剰余金	2,277,030	2,196,136
自己株式	△1,597	△1,597
株主資本合計	3,440,854	3,359,959
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	187,108	187,108
退職給付に係る調整累計額	△63,444	△61,434
その他の包括利益累計額合計	123,664	125,674
非支配株主持分	18,484	18,683
純資産合計	3,583,002	3,504,317
負債純資産合計	8,011,453	7,781,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,253,554	1,543,442
売上原価	964,612	1,129,443
売上総利益	288,941	413,998
販売費及び一般管理費	362,175	417,969
営業損失(△)	△73,233	△3,970
営業外収益		
受取利息	60	6
為替差益	13	—
未払配当金除斥益	495	548
受取保険金	—	59
貸倒引当金戻入額	83	19
その他	1,249	901
営業外収益合計	1,903	1,534
営業外費用		
支払利息	4,176	3,562
為替差損	—	31
その他	178	739
営業外費用合計	4,355	4,333
経常損失(△)	△75,685	△6,769
特別利益		
固定資産売却益	99	15,779
特別利益合計	99	15,779
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△75,585	9,010
法人税、住民税及び事業税	3,745	838
法人税等調整額	20,530	35,067
法人税等合計	24,276	35,906
四半期純損失(△)	△99,861	△26,895
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,052	199
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,913	△27,095

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△99,861	△26,895
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	2,203	2,009
その他の包括利益合計	2,203	2,009
四半期包括利益	△97,658	△24,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,710	△25,085
非支配株主に係る四半期包括利益	1,052	199

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	648,023	605,531	1,253,554	—	1,253,554
セグメント間の内部売上高 又は振替高	628	—	628	△628	—
計	648,651	605,531	1,254,183	△628	1,253,554
セグメント損失(△)	△62,683	△11,600	△74,284	1,050	△73,233

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額1,050千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	787,321	756,120	1,543,442	—	1,543,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,405	—	2,405	△2,405	—
計	789,727	756,120	1,545,848	△2,405	1,543,442
セグメント利益又は損失 (△)	△75,023	71,031	△3,992	22	△3,970

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額22千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。